

令和8年度 新規拡充事業について(案)

資料4

(千円)

基本構想	No	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要
生涯にわたり健康で、 地域で共に暮らせる 福祉のまち	1	高齢者見守り支援体制の強化	167,274	75,200	一人暮らし高齢者及び高齢者世帯の生活実態の把握や、必要な相談・支援を実施するために、区内8箇所の包括支援センターに設置している見守り相談窓口の支援担当を各1名増員する。 見守り支援担当 2名 → 拡充 → 3名
	2	移動支援事業（リフト付きタクシー運行事業）	8,700	8,700	障害や高齢により車いす等を利用しなければ移動が困難な方への外出支援として、リフト付きタクシーを借り上げ、移動支援事業を開始する。区は、予約料金、迎車料金、基本介助料及びメーター料金の2割分を負担する。 予約料金 迎車料金 基本介助料 メーター料金 区負担 区 利用者負担 2割 8割
	3	選択的サービス（入浴デイスサービス）の拡充	22,330	16,830	自宅での入浴が困難な方への入浴ニーズに対応するため、要支援者・事業対象者を対象とした入浴特化サービスを拡充する。 1施設 東部地域 → 拡充 → 計3施設 区内全域
	4	高齢者世帯へのエアコン設置助成事業	3,064	3,064	高齢者を熱中症から守るための予防策として、高齢者エアコン購入費を助成する。 75歳以上の世帯 設置助成 最大10万円 修理助成 最大3万円
	5	【区民提案】ケアする人がケアされる時間	4,906	4,906	普段、ケアをする側・支える側の方々が、自身の置かれている状況や悩みを共有し、疲弊感や孤独感を解消する「語りの場」を開催し、参加者には、保険外サービスの一部費用助成等を通じて、一時的に介護等の負担から離れて過ごす時間を提供する。 <語りの場>年4回開催 参加特典 保険外サービス 利用助成 <不参加の方向け> セルフケアのための 情報誌を作成 セルフケア
	6	高齢者スマートフォン購入費助成事業	20,000	20,000	高齢者のデジタルデバйд解消を目的に、スマートフォンを持っていない、もしくは著しく古いスマートフォンからの買い替えを行う65歳以上の区民に対し、補助を実施することで、介護予防等地域活動への参加を促進する。 満65歳以上の方 購入費助成 最大3万円
	7	介護支援専門員法定研修費用助成事業	1,105	1,105	介護人材不足が問題となっている中、介護支援専門員の確保・定着に向け、介護支援専門員の法定研修受講費用の事業所負担分及び自己負担分をなくすことを目的とし、東京都の費用助成の不足分について、区が費用助成を行う。 研修費用 区 東京都 25% 75%